

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-69002 (P2019-69002A)  
 【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-017  
 【出願番号】特願 2017-196668 (P2017-196668)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 16 日 (2019.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を実行可能な遊技機であって、  
 遊技の進行を制御する遊技制御手段と、  
 前記遊技制御手段から出力される情報にもとづいて演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、遊技機へ電力が供給されてから所定期間が経過した後に所定情報  
 を出力する情報出力手段を含み、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段から出力された情報を解析することが不可能な特定期間にて特定処  
 理を実行可能な特定処理実行手段と、

遊技機へ電力が供給されてから前記特定期間が経過した後に前記所定情報を入力可能  
 な情報入力手段と、を含み、

前記遊技制御手段は、

前記所定期間において、少なくとも第 1 処理と第 2 処理とを実行可能であり、

前記第 2 処理を実行する前に特殊処理を実行可能であり、

遊技機へ供給される電力が所定の電圧値に低下してから特別期間が経過する前に該電  
 力が前記所定の電圧値よりも高い電圧値に復旧する瞬停状態からの電力復旧がなされたと  
 きは、前記第 1 処理を実行せず、少なくとも前記特定期間が経過するまで前記第 2 処理を  
 実行する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を実行可能な遊技機であって、遊技の進行を制  
 御する遊技制御手段と、遊技制御手段から出力される情報にもとづいて演出の実行を制御

する演出制御手段と、を備え、遊技制御手段は、遊技機へ電力が供給されてから所定期間が経過した後に所定情報出力する情報出力手段を含み、演出制御手段は、遊技制御手段から出力された情報を解析することが不可能な特定期間にて特定処理を実行可能な特定処理実行手段と、遊技機へ電力が供給されてから特定期間が経過した後に所定情報を入力可能な情報入力手段と、を含み、遊技制御手段は、所定期間において、少なくとも第 1 処理と第 2 処理とを実行可能であり、第 2 処理を実行する前に特殊処理を実行可能であり、遊技機へ供給される電力が所定の電圧値に低下してから特別期間が経過する前に該電力が所定の電圧値よりも高い電圧値に復旧する瞬停状態からの電力復旧がなされたときは、第 1 処理を実行せず、少なくとも特定期間が経過するまで第 2 処理を実行する、ことを特徴とする。

(手段 1) また、他の遊技機として、遊技を実行可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100)と、遊技制御手段から出力される情報にもとづいて演出の実行を制御する演出制御手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 92 I W 100)とを備え、遊技制御手段は、遊技機へ電力が供給されてから所定期間が経過した後に所定情報(例えば、電断からの復旧を指示する演出制御コマンド、初期化を指示する演出制御コマンド)を出力する情報出力手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 7, S 9 を実行する部分)を含み、演出制御手段は、遊技制御手段から出力された情報を解析することが不可能な特定期間(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 92 I W 100 におけるタイマ割込処理を実行不可能な期間)にて特定処理(例えば、初期化処理)を実行可能な特定処理実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 92 I W 100 におけるステップ S 7 1 を実行する部分)と、遊技機へ電力が供給されてから特定期間が経過した後に所定情報を入力可能な情報入力手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 92 I W 100 における受け渡し用バッファ転送処理(図 20 - 10)および解析用バッファ転送処理(ステップ 92 I W S 7 1 1)を実行する部分)とを含み、所定期間において、少なくとも第 1 処理(例えば、ハードウェア的な待機処理)と第 2 処理(例えば、ソフトウェア的な待機処理(CPU 103 によるステップ 92 I W S 0 0 9 ~ 92 I W S 0 1 2 に示す処理))とを実行可能であり、遊技機へ供給される電力が所定の電圧値に低下してから特別期間が経過する前に該電力が所定の電圧値よりも高い電圧値に復旧する瞬停状態からの電力復旧がなされたときには、第 1 処理を実行せず(例えば、瞬停状態からの電力復旧時にはハードウェア的な待機処理は行われず)、少なくとも特定期間が経過するまで第 2 処理を実行する(例えば、CPU 103 がステップ 92 I W S 0 0 9 ~ 92 I W S 0 1 2 を実行することにより、演出制御用マイクロコンピュータ 92 I W 100 による初期化処理が終了するまでソフトウェア的な待機処理を実行する(図 20 - 3 参照))、

ことを特徴としてもよい。

そのような構成によれば、瞬停状態からの電力復旧が発生したときにも所定期間が経過するまで所定情報出力しないため、演出制御手段が所定情報を取りこぼすことを防止することができる。